

# 令和3年度 在宅歯科医療連携室整備事業

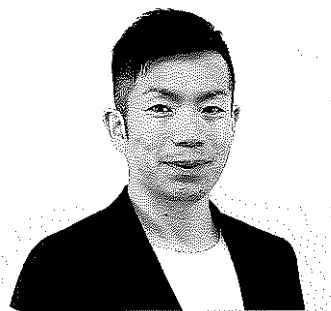
## 第2回 歯・口腔に関わる在宅療養支援サポート研修会

当会では在宅歯科医療を推進するため、道内3次医療圏域すべてに在宅歯科医療連携室を設置し、多職種との協働関係構築を目的とした業務を推進しており、本事業の一環として標記研修会を開催いたします。

本研修会では、コロナ禍での高齢者食支援に対する歯科の関わり方について学ぶべく下記日程のとおりご案内いたします。**会員の先生およびスタッフ（歯科衛生士など）**のご参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、本研修会はオンライン（Zoomウェビナー）での開催とし、診療所や自宅の個人PC、スマートフォン、タブレットなどから受講いただきます。ただし、診療所、自宅にてPC、スマートフォン、タブレットなどが使えない方のために、一部サテライト会場を設置いたします。お申込みなど詳細は、裏面にてご案内しておりますので、確認の上お申込みいただけますようお願い申し上げます。

**日 時：令和3年12月11日（土） 15：00～16：30**



**演 題：『高齢者の在宅食支援と訪問歯科診療**

**～コロナ禍を踏まえた歯科の関わり～』**

**講 師：公立能登総合病院**

**歯科口腔外科 部長 長谷 剛志**

抄録：人の「食べる力」は、咀嚼や嚥下に特化した機能ではない。むしろ、高齢者の多くは「anorexia of aging」であり、食行動調節系の変調や消化管運動機能の低下、生活機能低下、認知機能障害、食事環境の孤立など多様な因子が影響して生じる。そのため、食事介助の手技やりハビリ、食形態の改善・工夫によって食べる機能が向上し、必要栄養量を摂取できるようになる症例は少ない。つまり、ここで述べる「食べる力」とは、主に脳血管障害を原疾患として論ぜられるような狭義の「摂食嚥下機能」と同義ではなく、ライフステージや生活の一部としての買い物や食材の選択、調理も含めた一連の行動としての食事を意味する。

地域では高齢者を対象とした食支援の連携が進んでいる。しかし、地域には様々な高齢者が暮らし、多様な生活環境や療養環境で食べることに問題を抱えている。それゆえ、通り一遍の食事支援・介助では本人のみならず周囲のスタッフや家族も疲弊してしまう。個々の食習慣や食経験を勘案し、生活に寄り添った支援が必要なのだ。

では、「食べる力」をどのような観点で捉え、家族を含めた周囲のスタッフと連携・サポートするのが理想的か。療養環境に関係なく、専門性の異なる職種が取り組んでも高齢者の「食べる力」を最大公約数的に判断できるシステムづくりが地域には必要と考える。その基盤となるのが、「カニや白えび」の関係だ。カニや白えびは、北陸地方の冬の味覚を代表する食材であるが、ここで述べる「かにやしるえび」は食材を意味しているわけではない。①か（環境）、②に（認知機能）、③や（薬剤）、④し（心理）、⑤ろ（老化）、⑥え（栄養）、⑦び（病気）。つまり、①～⑦は、高齢者の「食べる力」を地域の多職種で連携する際に鍵となる7つの要因（環境、認知機能、薬剤、心理、老化、栄養、病気）の頭文字である。これらの関係を個々に抽出し、整理することは食事に関する問題点の抽出や行政も含めた多職種連携の活性化にも役立つと考える。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により全国各地で食のイベントや食支援事業が制限されるなか、当地域における食支援の取り組みを紹介し、高齢者の食支援に対する歯科の関わり方について考えたい。

▽受講料：無料

▽対象者：歯科医療従事者

▽定員：450名

▽申込方法：裏面をご覧ください。

## 参加方法は①診療所や自宅での参加 ②サテライト会場で受講の2通りです

お申込みは  
11月30日まで

スマートフォン・タブレットなどQRコードよりお申込みの方



パソコンなどURLより  
お申込みの方

北海道歯科医師会 HP「連携室サポート研修会」よりお申込みください。  
<https://www.hokkaido-shikaishikai.com/doctor/support/>

### ①診療所や自宅から参加

#### ○申込み方法

上記QRコードまたはURLよりお申込みください。  
Zoomより、数分以内にご登録いただいたメールアドレス宛に登録完了メールが届きます。

#### ○資料配布と映像音声確認について

12月6日(予定)にお申込みアドレス宛に資料ダウンロード用URLのご案内メールを送信いたします。また当

日は、正午よりログイン可能となりますので、研修会開始前に、本会からの映像、音声の受信を確認してください。

#### ○質問

研修会の最後に質疑応答の時間を設けます。ご質問のある方はZoomウェビナーの機能にあるQ&Aより入力してください。講師より回答させていただきます。

#### ○Eシステム単位登録

研修会に参加いただきました道歯会員の単位登録は、当会にて行います。

#### 【ご注意】

- ・お申込みは当日お使いになるデバイスにて使用のメールアドレスをご登録ください。
- ・お申込み完了メールが届かない場合、ご登録のメールアドレスが間違っている可能性がございます。メールアドレス、また迷惑メール設定などをご確認のうえ、再度お申込みください。
- ・研修会参加用URLは、登録完了メール、研修会前日、当日のメールに記載がございます。

### ②サテライト会場から参加

#### ○申込み方法

診療所、自宅にてPC、スマートフォン、タブレットなどが使えない方のために、一部サテライト会場を設置いたします。サテライト会場で受講を希望される方は、下記サテライト設置会場を確認の上、希望会場設置の郡歯会宛にFAXにてお申込みください。各会場定員を設けており、お申込み多数の場合は、**先着順**にて受付となりますので、ご了承ください。

#### ○資料配布

当日、会場にて配布いたします。

#### ○質問

申し訳ございませんが、ウェビナーのシステム上、サテライト会場からの質問はお受けできませんので、ご了承ください。

#### ○Eシステム単位登録

研修会当日、サテライト会場に日歯生涯研修のICカードをお持ちください。

郡歯会	定員	会場住所	申込先FAX
旭川	30名	旭川歯科医師会館(旭川市金星町1丁目1-52)	0166-24-1147
空知	10名	ホテル三浦華園(滝川市花月町1丁目2番26号)	0125-24-6672
小樽市	10名	小樽市歯科医師会館(小樽市稲穂2丁目1番14号)	0134-27-4070
北見	10名	北見歯科医師会館(北見市大通西5丁目10番2号)	0157-23-7734
十勝	10名	十勝歯科医師会館(帯広市東7条南9丁目15-3)	0155-22-8024
苫小牧	15名	苫小牧市医師会館 2階(苫小牧市旭町2丁目4-20)	0144-35-5754
千歳	5名	千歳歯科医師会事務所 (恵庭市泉町24番地の1 エニケンビル 1階)	0123-33-7961

#### サテライト受講申込書

会場名：	氏名：
TEL：	勤務先：
所属郡歯会名：	職種：

お問い合わせ先：北海道歯科医師会 在宅歯科医療連携室 (担当 杉本 未里)  
TEL：011-231-0945 E-mail：sugimoto@doushi.net